

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	峯村清一
	<b>全体計画</b>	令和 2年度 ~				<b>経費区分</b>	実施計画事業費		<b>内線</b>	3622		
<b>事務事業名</b>	15979 人・地域資源で紡ぎだすまちの元気創出事業											
<b>所 属</b>	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
<b>施 策</b>	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費										
	<b>事業</b>	040000 人・地域資源で紡ぎだすまちの元気創出事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
地域再生計画（「まるごと博物館構想」を核とした「人」・「地域資源」で紡ぎ出すまちの元気創出事業計画）に基づき、地方創生推進交付金を活用した事業を進める。（交付金対象年度：令和2年度～令和4年度）						<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に点在するあらゆる文化財、歴史芸術、郷土食、これらに関わる人の全てを活用した新しい形での「まるごと博物館構想」事業を展開する。</li> <li>・「まるごと博物館」を文化的分野にとどまらせることなく、新たな市の観光イメージとしてブランディング化し、人の流れを市内各所に循環させる仕組みを作り出す。</li> <li>・「稼げる魅力あるまち」のイメージを定着させ、若者の転出抑制と市外からの還流を促し、地域の元気創出につなげる。</li> </ul>						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
まちの元気創出推進実行委員会の設立 事業戦略の及び個別事業の構築、回遊性向上のための交通検討、地域アプリ開発及び文化財等を紹介するホームページのリニューアルを実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興部会、回遊促進部会、産業振興部会に係る具体的な事業や施設整備等を実施</li> <li>・2022年度実施事業の詳細構築</li> <li>・2022年度地方創生推進交付金の申請</li> </ul>
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
文化振興部会、回遊促進部会、産業振興部会に係る具体的な事業や施設整備等を実施	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名 文化観光施設入館者数（増加分）						
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,000	5,000	5,000		
	実績					
指標選定の理由	「まるごと博物館構想」による追記ブランディング化と情報発信により、観光需要や文化施への興味がの高まる事などにより、文化施設の入館者数の増加が期待される。					
最終年度目標の根拠						
指標名 市内店舗（「わざわざ店」）出店数（累計）						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5	5	10		
	実績					
指標選定の理由	地域事業者の販売出口づくり（EC化支援）や新たな地域資源開発により販売網も増え、出店を検討する事業者が増加することが期待される。					
最終年度目標の根拠						
指標名 「文化財・まちのお宝（魅力）まるごと電子ブック」（アプリ）の登録件数（のべ）						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,000	5,000	5,000		
	実績					
指標選定の理由	本事業で構築するアプリを使い、市の情報発信やロコミなどを一元的に集約し、観光文化に係る情報を提供する事で新たな層へ情報拡散をする。					
最終年度目標の根拠						

事業費

（単位：千円）

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		88,053	136,200
特定財源	国庫支出金	34,262	64,800
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	29,200
	その他	0	0
一般財源		53,791	42,200
人員数（人）	正規職員	1.2	1.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	8,361.6	7,664.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,361.6	7,664.8
市民一人当たりの経費		1.8	2.8
総額		96,414.6	143,864.8

（単位：千円）

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	88,053	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	136,200	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	実行委員会形式で事業を実施しているが、事業内容を検討する期間が短いことなどにより各委員の事業への理解が深まっていない。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	・期間が短い中で、事業をこなしていくことに追われ、当初考えていた文化スポーツ課が事務局を担い、事業に関連する課が事業を担っていく進め方が実現出来ておらず、事務局に負担が集中し負担が非常に大きい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	事業実施において前例がないため、比較するものはないが、非常に人的パワーに依存しているところもあり、効率を考えるとところまでいかない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

この事業については、複数の事業によりまちの元気を創出することが目的である。事業に関係する者に目的を正確に理解してもらい、市全体で進めていく必要がある。所管する課の所感としては、事業効果を含め課題が多い。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

地方創生交付金事業であり、まるごと博物館構想を核としているので肅々と進めていく必要がある。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

地方創生交付金事業として、描いているビジョンに向けて確実に事業を進める必要がある

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--